



乳がん 2022年3月版

Oncologist Fact Report

乳がん診療医の情報収集レポート

2022年新薬の認知・処方実態や処方に至るまでの
カスタマージャーニー

株式会社メディカルトリビューン

Breast cancer '22

目次

1 本サービスご提供の背景・乳がんに関するレポートに取り組む背景

2 調査概要

- 回答者属性

3 エグゼクティブサマリー

4 調査結果詳細

- 第一部：乳がんの治療実態

- 4-1：薬剤の処方状況
- 4-2：開発品の認知状況
- 4-3：治療方針／チーム医療

- 第二部：乳がんを診察する医師の情報収集実態

- 4-4：日常診療
- 4-5：MR／MSL
- 4-6：学会
- 4-7：カスタマージャーニー
- 4-8：キャズム理論を参考とした回答医師のグループ分けによる考察

- 第三部：乳がん患者の治療実態

- 4-9：まとめ・回答者属性
- 4-10：治療・通院の状況
- 4-11：乳がんや治療に関する情報収集・アプリ

調査概要

	医師	患者
調査対象者条件	<ol style="list-style-type: none">1. 乳腺外科、外科、腫瘍内科2. 直近3カ月間に以下いずれかの患者を1人以上診療<ul style="list-style-type: none">● 手術不能ステージⅢ● ステージⅣ・再発・転移性乳がんの患者	<ol style="list-style-type: none">1. 乳がんの薬物治療経験がある
標本抽出	Medical Tribune ウェブ 医師会員 Medical Tribune新聞版 医師会員	一般消費者パネルからのランダム抽出
調査手法	WEBアンケート調査	WEBアンケート調査
サンプル数	166ss	500ss
調査時期	2022年2月15日～3月1日	2022年2月9日～21日

2001年以降に発売された乳がんの薬剤を対象とし、過去の処方経験や処方に至るまでの経路を聴取した

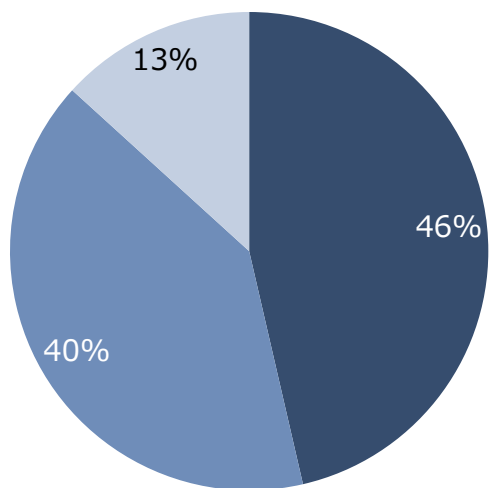
No.	クラス	商品名	一般名	企業名	発売/ 適応拡大時期
1	選択的エストロゲン受容体ダウンレギュレーター (SERD)	フェソロデックス	フルベストラント	アストラゼネカ	2011年11月
2	mTOR阻害薬	アフィニトール	エベロリムス	ノバルティスファーマ	2014年3月
3	CDK4/6阻害薬	イブランス	パルボシクリブ	ファイザー	2017年12月
4		ベージニオ	アベマシクリブ	日本イーライリリー	2018年11月
5	抗HER2抗体/抗体薬物複合体	ハーセプチン	トラスツズマブ	中外製薬	2001年6月
6		カドサイラ	トラスツズマブ エムタンシン	中外製薬	2014年4月
7		パージェタ	ペルツズマブ	中外製薬	2013年9月
8		エンハーツ	トラスツズマブ デルクステカン	第一三共	2020年5月
9	免疫チェックポイント阻害薬	テセントリク	アテゾリズマブ	中外製薬	2019年9月
10		キイトルーダ	ペムブロリズマブ	MSD	2021年8月
11	PARP阻害薬	リムパーザ	オラパリブ	アストラゼネカ/MSD	2018年7月
12	微小管阻害薬	ハラヴェン	エリ布林	エーザイ	2011年7月

全体

- ✓ 診療科は乳腺外科と一般外科が多くを占めており、腫瘍内科は1割程度
- ✓ 大学病院は2割程度、乳腺クリニックのような施設形態も少数ながら含まれている
- ✓ 地域としては関東が最も多く、次いで中部の順である
- ✓ 年代は30～50代が8割を占める

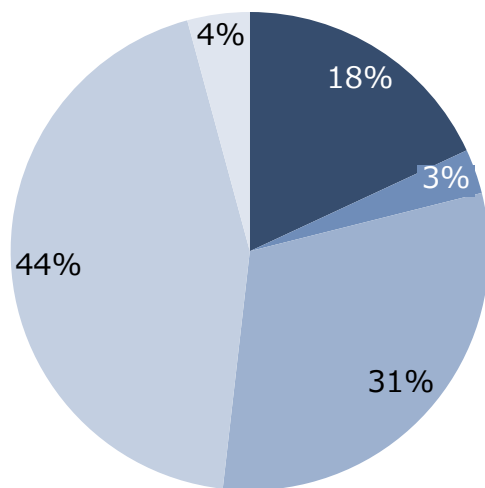
(n=166)

診療科



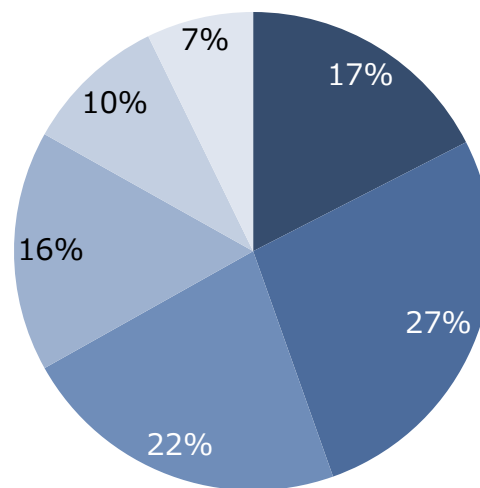
■ 乳腺外科 ■ 腫瘍内科
■ 外科

勤務施設



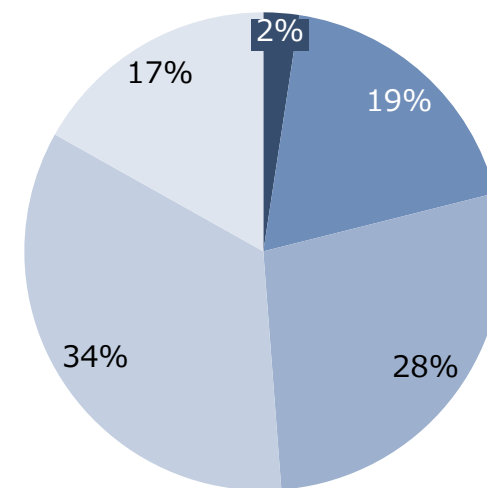
■ 大学病院
■ がん専門病院
■ 国公立病院
■ その他の病院
■ 医院・診療所・クリニック

勤務施設のエリア



■ 北海道・東北 ■ 近畿
■ 関東 ■ 中国・四国
■ 中部 ■ 九州・沖縄

年代



■ 20代 ■ 50代
■ 30代 ■ 60代以上
■ 40代

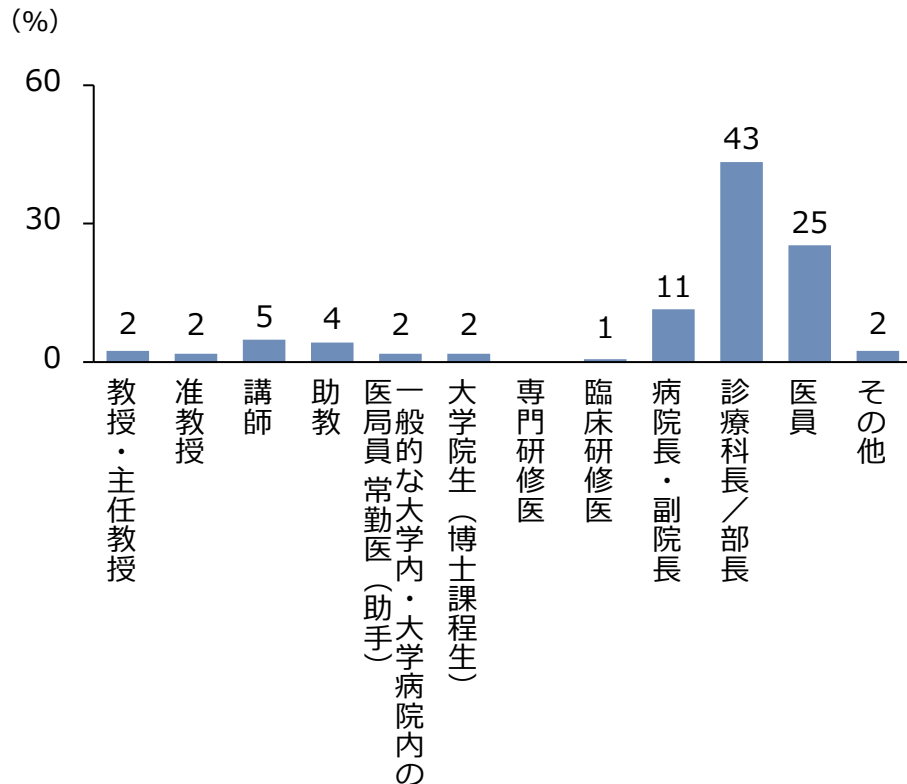
SC1.先生の主な診療科を教えてください。/F1.先生の主な勤務施設を教えてください。/F2.先生の主な勤務施設の所在地を教えてください。/F3.先生のご年齢(年代)を教えてください。

全体

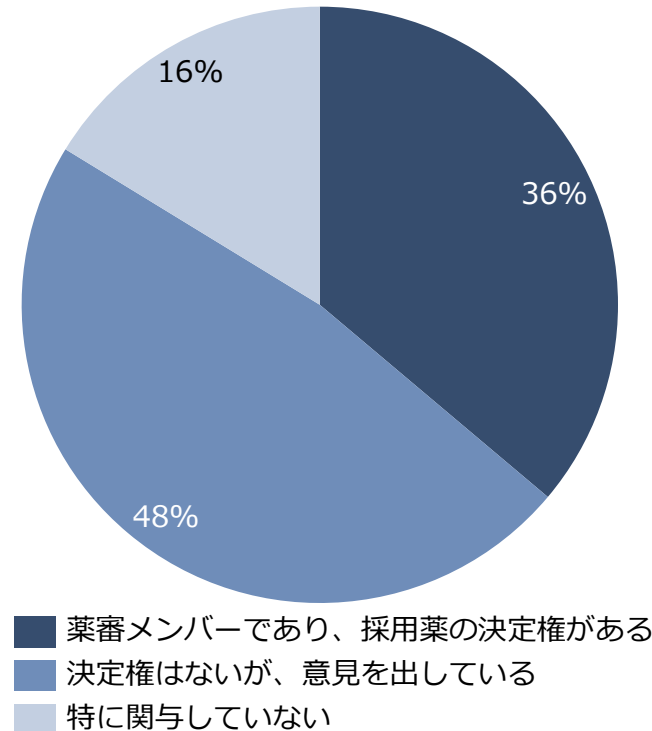
- ✓ 採用薬の決定権または関与がある医師が8割以上
- ✓ 臨床試験への関与は3割強の医師が有する

(n=166)

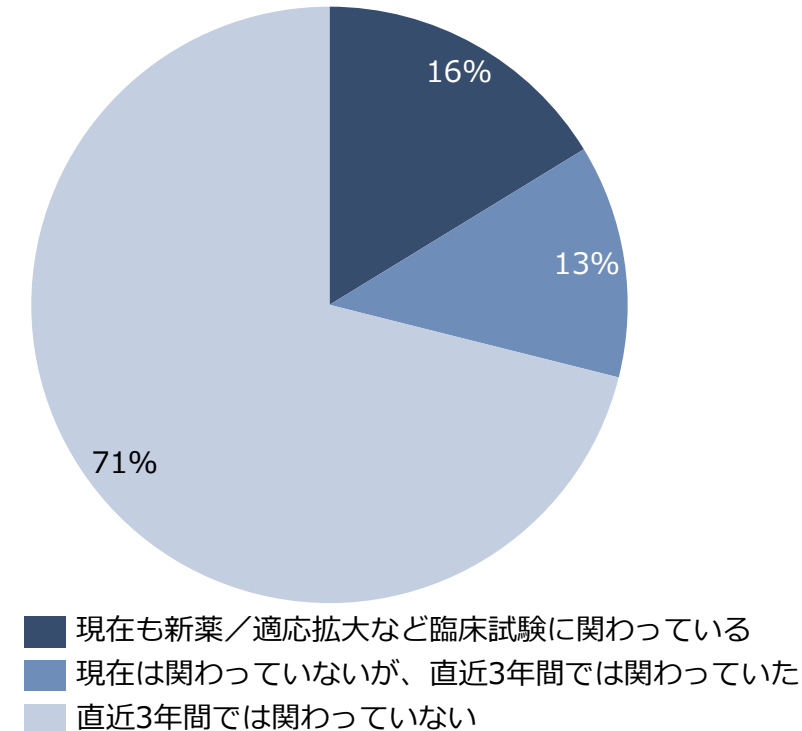
役職



採用薬への関与



臨床試験への関与

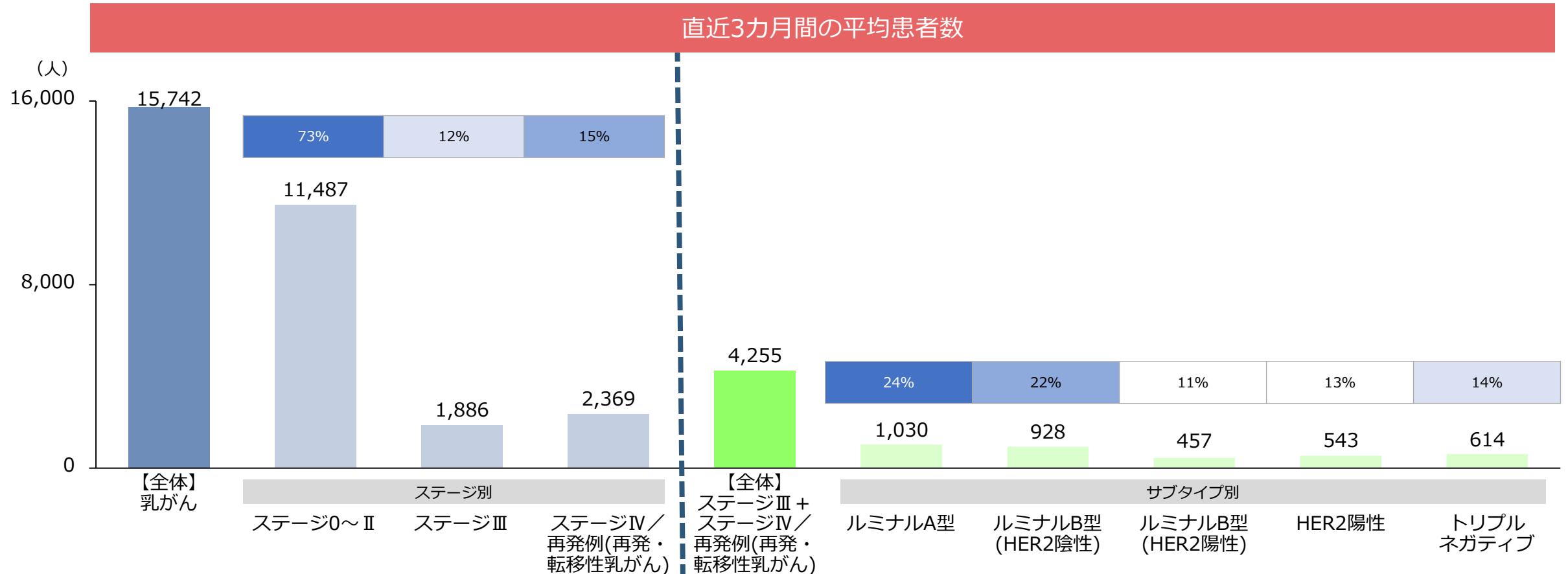


F4.先生の主な勤務施設での役職を教えてください。/F5.先生の主な勤務施設における採用薬への関与について、あてはまる内容を選択してください。/F6.先生は直近3年間で、乳がん治療に関わる新薬や適応拡大などの臨床試験に関わっていますか。

全体

- ✓ 全患者に占めるステージⅣの割合は15%
- ✓ サブタイプ別では、ルミナルA型、B型（HER2陰性）が比較的多い傾向にあり、トリプルネガティブも14%

(n=166)



SC2.先生が直近3カ月間に診療した乳がんの患者数を教えてください。(カルテベース) / SC3.先生が診察している乳がん患者のうち、以下のステージ別の患者数を教えてください。
 SC4.先生が診療している手術不能ステージⅢ、ステージⅣ・再発・転移性乳がん患者のうち、以下のサブタイプ別の患者数を教えてください。

Oncologist Fact Report (乳がん)

- 上記の費用には、以下が含まれます
 - 医師調査
 - 乳がん領域に関する治療実態
 - 乳がん患者を診療する医師の情報収集実態
 - 患者調査
 - 乳がん患者に対する治療実態等の調査結果
 - 調査対象者と御社TGリストとのマッチングもご対応いたします
 - マッチングフラグ付きローデータ (エクセル)
 - ターゲット有無別クロス表 (エクセル)
- ※上記費用内 (追加費用なし) でご対応致します

本レポートのお問い合わせ先 :

株式会社メディカルトリビューン 調査部

research@medical-tribune.co.jp

03-6841-4545

